

2018年9月

JNTO が WORLD WINTER SPORTS(北京) EXPO 2018 へ初出展 ～スノーリゾートとしての日本の魅力を PR～

観光庁は、2018年8月に「スノーリゾート地域の活性化に向けたアクションプログラム 2018」*を策定し、国内外から日本のスノーリゾート地域への誘客促進等に向けた取り組みを進めています。

JNTO では、その取り組みの一環として、9月19日（水）～22日（土）に中国・北京市内の北京国家会議中心で開催されたウィンタースポーツの博覧会「WORLD WINTER SPORTS (北京) EXPO 2018」に初めてビジット・ジャパングースを出展し、スノーリゾートとしての日本の魅力を広く発信しました。

第3回目の開催となる本博覧会の今年のテーマは「The Power of Ice & Snow」で、中国国内外のスノーリゾートのほか、ゴンドラや人工降雪機、スケートリンクなどの設備、スキーウェアやスキー板、スキー場開発等、各種ウィンタースポーツ産業の関連事業者など幅広い分野から合計225団体が参加。日本からは、JNTOのほか、スノーリゾートエリアの地方自治体を中心に合計9団体が出展しました。

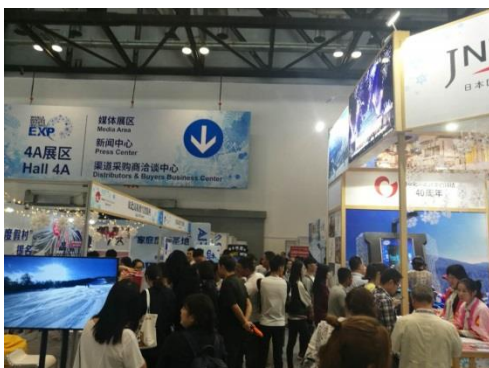
また、期間中、各出展者等によるプレゼンテーションやパネルディスカッションを行うフォーラムが開催され、JNTOも日本のスノーリゾートの雪質やアクセスの良さに加え、雪祭りや温泉などの冬季観光の魅力についてプレゼンテーションを行い、好評を博しました。

2022年の冬季オリンピック・パラリンピックの北京開催が決定し、中国では政府主導でウィンタースポーツおよび関連産業の振興に注力していることもあり、年々、スキー熱が高まってきています。観光庁の推計**では、中国からの訪日スキー客は急増しており、2016年以降、国別人数では1位を占めており、今後も増加が見込まれます。

JNTO では今回の出展を契機に、中国において日本のスノーリゾートの魅力発信をより一層強化してまいります。

* 関係省庁、関係団体、有識者からなる「スノーリゾート地域の活性化推進会議」において、官民が取り組む事項をとりまとめたもの。同会議には JNTO も参加。

**海外スキー市場に関するデータ整理（観光庁）<http://www.mlit.go.jp/common/001237909.pdf>



来場者で賑わうジャパンパビリオン



フォーラムでの JNTO のプレゼンテーション